

Take FREE
こちら、吉野川のみえる放送局
FM五條 78.0MHz

水模様

vol.1 2017年夏号

発行日:2017年7月1日
発行:社会福祉法人 祥水園
〒637-0036 五條市野原西3丁目3-41
TEL:0747-23-0615 FAX:0747-22-8713
編集:奈良日日新聞社
〒630-8001 奈良市法華寺町2番地4
TEL:0742-32-2000 FAX:0742-32-1919

FM五條開局記念特集



INDEX

- ページ2
FM五條開局記念対談
太田五條市長×塩崎FM五條代表
「なくてはならない情報発信基地に」
- ページ3
FM五條から皆さまに楽しく役立つ
情報を発信。ラジオパーソナリティ紹介
- ページ4
ご入居者さまの明るく楽しい毎日
をご紹介。祥水園便り
- ページ2～3
番組スケジュール

【理念】

「してやる」のではなく、「させていただく」のです（宗祖お言葉18）

【ご挨拶】

平成28年4月、豊かな吉野川のほとりに「地域共生の場」として祥水園西villageがオープンしました。ともすると、高齢者福祉や介護というイメージは、社会から見て、閉ざされ、暗く、ネガティブな印象を与えてしまっていることも事実です。

しかし、本来は、「地域共生の場」として、明るくその場は解き放たれるべきではないかと考えます。その具現化の一つとして、我々の悲願でもあったコミュニティーラジオ放送、FM五條78.0が7月8日に開局する運びとなりました。

平成23年の紀伊半島大水害を機に防災への意識の高まりは日ごと強くなっていく中で、地域の防災・減災に少しでも役に立てるコミュニティツールとしてこのFM五條78.0が存在し、地域の情報や地域で活躍する人々、高齢者から子どもたちまで幅広いネットワーク作り、しいては地域活性化の一翼を担えるならばと思っております。

FM五條78.0、季刊誌「水模様」を幹として、こよなく五條を愛する人々とともに、だれもが集い、だれもが学び、だれもが心豊かであるように願い、「地域共生の場」として、深く、広く、大きく根を張り、共に夢と希望の花を咲かせていくたいと思っております。

社会福祉法人祥水園理事長 塩崎万規子

「なくてはならない発信基地に」



「FMラジオで情報伝達の促進ができるのは、行政にとってこの上ない喜び」と話す太田五條市長



「ラジオを通して市民のお役に立ち、五條の元気な声をできる限り届けたい」と話す塩崎代表

社会福祉法人祥水園が7月8日、「FM五條」(78.0MHz)を開局します。FMラジオを活用して防災情報を伝達したり地域コミュニティの親密化を図り、活気あるふるさと五條を実現しようと県内で3番目の地域コミュニティFMとして開設されます。開局を前に太田好紀五條市長とFM五條代表で同園の塩崎万規子理事長にコミュニケーションにおける期待と展望などについて語り合っていただきました。

(聞き手は藤山純一・奈良日日新聞代表取締役)

—開局おめでとうございます。今のお気持ちをお願いします。

塩崎 「まず五條に住むたくさんの方々に応援をいただいたのがすごくうれしかったです。ラジオ局立ち上げに関して私たちは素人ですし、何もノウハウがない。しかし、だからこそ協力してあげようという方がたくさんいらっしゃいます。

小中高校と教育関係の方も番組づくりに協力をいただいています。児童や生徒の声を

ラジオを通して届ける。

—それと、五條の防災、危機管理に携わることができる。実はこれがラジオ局を立ち上げようと思った一番の理由です。私が阪神淡路大震災で被災した時は、情報源がラジオしかありませんでした。

だから市民の方々が困ります。さらに生放送が朝3時間と夕方2時間あります。

塩崎 「放送の目玉の一つは、若い母親世代に元気になってもらいための「五條ちびっこ応援隊」という子育てを応援する番組です。

若い母親世代を対象に、小学校の教員免許を持つたバーソナリティをゲストに話をお聞きする番組もあります。

また奈良市のならどつとFMと王寺町のFMハイロー、そしてFM五條の県内の3つのコミュニティFMが連携し、多くのリスナーに届けられる番組を作りたい。ラジオ和歌山とも提携を計画しており、気候の違いや海の有無などで、同じ関西なのに違った点を話題につなげていくこと

と思います。私はいつも50年先を見据えた市政を考えています。ぜひこの様子を放送していただきたいと思います。

太田 「わかりました。ぜひとも協力させていただきます。今年は市制60周年でイベン

トもたくさん考えています。ぜひこの様子を

—最後にFM五條のこれからの抱負を。

塩崎 「市長がおつた通り、『継続していくことばかり』いけません。FM五條

としていくことばかり努力をしていかないといけません。FM五條

演出してくれた方に何か活気付いたよねと言えるものを形として残せるように、できるだけ現地に出向いて聞かせていただくという謙虚なスタンスを忘れ

ます。波数のコミュニティFMが沖縄と千葉にも同じ周波数のコミュニティFMがあります。F.M.五條は78.0MHzなのですが、

ラジオ局があります。それでもっとラジオを盛りました。

—ありがとうございます。

社会福祉法人祥水園が7月8日、「FM五條」(78.0MHz)を開局します。FMラジオを活用して防災情報を伝達したり地域コミュニティの親密化を図り、活気あるふるさと五條を実現しようと県内で3番目の地域コミュニティFMとして開設されます。開局を前に太田好紀五條市長とFM五條代表で同園の塩崎万規子理事長にコミュニケーションにおける期待と展望などについて語り合っていただきました。

(聞き手は藤山純一・奈良日日新聞代表取締役)

—開局おめでとうございます。今のお気持ちをお願いします。

塩崎 「まず五條に住むたくさんの方々に応援をいただいたのがすごくうれしかったです。ラジオ局立ち上げ

に関して私たちは素人

です。まだ、子どもたちにラジオの機材を触つても

られる機会も提供できま

す。祥水園は老人介護福祉施設ですが、そ

れだけではないといっ

て证明ができたようで本

当にうれしく思います。

—FM五條の放送内容や今後の展望をお願い致します。

塩崎 「放送の目玉の一つは、若い母親世

代に元気になってもらいための「五條ちびっこ応援隊」という子育て

を応援する番組です。

若い母親世代を対象に、小学校の教員免許を持つたバーソナリティ

をゲストに話をお聞きする番組もあります。

また奈良市のならどつとFMと王寺町のFMハイロー、そしてFM

五條の県内の3つのコミュニティFMが連携し、多くのリスナー

に届けられる番組を作りたい。ラジオ和歌

山とも提携を計画しており、気候の違いや海

の有無などで、同じ関西なのに違った点を話題につなげていくこと

だと思います。

太田 「それは大変

と思います」

—最後にFM五條のこれからの抱負を。

塩崎 「市長がおつた通り、『継続

していくことばかり』

努力をしていかないと

いけません。FM五條

演出してくれた方に何か活気付いたよねと言えるものを形として残せるように、できるだけ現地に出向いて聞かせていただくという謙虚なスタンスを忘れ

ました。



太田市長 × 塩崎代表 FM五條 表彰

声をできる限り皆さまに届けたいのです。」

—五條市で初、県内3つ目のコミュニティ放送局ですが、どのようなことを期待されますか。

太田 「6年前の紀伊半島大水害を振り返ると電気、水道などのインフラが止まっています。唯一つながるのはラジオだけでした。この大水害の教訓でこれまでの6年間で防災力の強化を図り、防災行政無線を整備し、今年から運用を始めました。一番大事なのは市民の皆さんに大事な情報(避難経路など)

が運用できるかが重要です。災害時にいかに上手に運用できるかが重要で地域との関係の積み重ねをこれから構築し、具体的な施策を作り上げ市民に親しまれるFMになつていただきたいと思います。行政と一緒に協力したいと思い

Mになっていただきたいと思います。行政と一緒に協力したいと思い

塩崎代表はまさに努力をしてらっしゃいます。成長していくなればなりません。その点で

太田 「新しいことをしてらっしゃいます。災害に耐える強固な施設のために投資を行うだけにとどまらず、地域コミュニティの活性化のためにFMラジオ局を開設し時代の流れを把握していらっしゃいます」

塩崎 「五條は活気も何もないという思い込みをなくして、特に若い母親世代を呼び戻したいです。若い母親世代を呼び戻すには少なからず子育てにストレスを感じる時があります」

太田 「それは大変だと思います」

塩崎 「五條は活気も何もないという思い込みをなくして、特に若い母親世代を呼び戻したいです。若い母親世代を呼び戻すには少なからず子育てにストレスを感じる時があります」

太田 「それは大変だと思います」

イベントに参加できますよ、といつたいろんな情報が伝達できればと思います。

行政はずっと同じことで地域との連携でFMを使って、情報伝達を促進できるのは行政としてはこの上ない喜びます。

太田 「6年前の紀伊半島大水害を振り返ると電気、水道などのインフラが止まっています。唯一つながるのはラジオだけでした。この大水害の教訓でこれまでの6年間で防災力の強化を図り、防災行政無線を整備し、今年から運用を始めました。一番大事なのは市民の皆さんに大事な情報(避難経路など)

が運用できるかが重要です。災害時にいかに上手に運用できるかが重要で地域との関係の積み重ねをこれから構築し、具体的な施策を作り上げ市民に親しまれるFMになつていただきたいと思います。行政と一緒に協力したいと思い

Mになっていただきたいと思います。行政と一緒に協力したいと思い

塩崎 「五條は活気も何もないという思い込みをなくして、特に若い母親世代を呼び戻したいです。若い母親世代を呼び戻すには少なからず子育てにストレスを感じる時があります」

太田 「それは大変だと思います」

明るく、楽しく、 心豊かな生活をご紹介

祥水園便り

特別養護老人ホーム

「新婚旅行の思い出の地へ」

「昔、新婚旅行に行った白浜にもう一度行きたいわ」という一言。ご夫婦で思い出の地に行こうではないか!という事で、祥水園の持ち味である、介護技術で一般車両に乗り、Nさまご夫婦思い出の地「白浜」へ出発。車の乗り降りも楽々です。日頃の成果がここで発揮されます。

Nさま夫婦も「やっぱり普通の車はいいわね」と言つてくださいました。新婚旅行で行った三段壁に到着。「懐かしいね。お父ちゃん覚えてる!」と昔話に華を咲かせていました。夫婦、微笑ましいです。

ホテルへ着き重椅子から降り、掘りごたつでのんびりしていました。

「脣の感触が久しぶりでごくうれしい」と言つてくださいました。これも介護技術のたまものですね。

「本当に良かつたと思います。



軽費老人ホーム

「カフェDAHLIAで優雅にランチ」



洋食のランチを頼まれ、大きな有頭エビフライに舌鼓。ビルも注文し、お互いに紅くなつた顔を見合わせ、お互いに大笑い。いつもと雰囲気も違い、会話を弾みました。

「私はただ楽しませてもらつて悪いなあ、ごめんやで」

「いらっしゃいこそ楽しめていただきました。」

「また、一緒に食事に行きましょうね。」

心の詩 (皆さまからの投稿コーナー)

【時事川柳】

やくみつる 漫画ヒントに二句出来る
森と加計 ダブル注文 安倍総理
明恵さん 挑え目が良い クリスマス
公文書 墨塗りつぶしは解せませぬ
腰痛の 出番に悩む 梅雨に入る(いる)
ドラマより 国家中継 面白い
印象操作 トップが使う 言葉かな
安倍総理 夫妻の舌を待つ閻魔
国会答弁 ないないづくして よろしいか
安倍総理 印象操作を連発す
答弁に 益々不信 つります
印象操作 トップ使わぬ 方が良い

【川柳】

鮎の香を 稚魚のうちから 句わせる
菜園の みどり絶やさぬ 友達者
嘘つかぬ 菜園が好き 友達者
腰痛の 出番に悩む 梅雨に入る(いる)
細々と書く 寮母日誌に
花坂 照子

今日塗り絵

明日は書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは

若家に入る

今日は

塗り絵

明日は

書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは

若家に入る

今日は

塗り絵

明日は

書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは

若家に入る

今日は

塗り絵

明日は

書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは

若家に入る

今日は

塗り絵

明日は

書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは

若家に入る

今日は

塗り絵

明日は

書道と

楽しみを

思いつつ寝る

一人の部屋は

苦しみも

楽しみも共に

越えてきた

九十餘年の

吾か手見つむる

手作りの

花それぞれの

空瓶に

活けて

老等の

日々は明るく

急かされて

一日で縫い上げし

浴衣着て

生き延びしを

今日より吾るは